

(以下支援員)

### 支援員の役割

1. 発達障がい及びその可能性のある児童に対する学習支援
  - ・教室を飛び出して行く児童に対して、安全確保や居場所の確認を行う。
  - ・読み取りに困難を示す児童に対して、黒板の読み上げを行う。
  - ・書くことに困難を示す児童に対して、テストの代筆などを行う。
  - ・聞くことに困難を示す児童に対して、教員の話の繰り返して聞かせる。
  - ・学用品など自分の持ち物の把握が困難な児童に対して、整理場所を教える等の介助を行う。
2. 児童の健康・安全確保関係
  - ・視覚障がいのある児童の場合、体育の授業や図工（はさみやカッターナイフを使う場面）で介助に入り、安全面の確保を行う。
  - ・他者への攻撃や自傷などの危険な行動の防止等の安全に配慮する。
3. 周囲の児童の障がい理解促進
  - ・支援を必要としている児童に対する、友達としてできる支援や適切な接し方を、担任と協力しながら周囲の児童に伝える。
  - ・支援を必要とする児童に適切な接し方をしている児童の様子を見かけたら、その場の状況に応じて賞賛する。
  - ・支援を必要とする児童の得意なことや苦手なこと、理解しにくい行動をとってしまう理由などを、周囲の児童が理解しやすいように伝える。

### 支援導入にあたって留意すべき点

1. 学級担任や特別支援教育コーディネーター等と支援員が、対象児童の支援方針を共通理解した上で、お互いの立場と役割を理解し合い連携・協力をする。
2. 授業においては、学級担任は指導者。支援員は授業を補助（授業における教示や指示の補完・補充、授業の準備や後片付けの援助など）する役割。従って、支援者は、授業そのものやその授業を引き継ぎ代替して行うことは出来ない。
3. 支援員が何の為に教室に入っているか、どのような役割を果たすか等について、学級の児童全体に理解出来るように、学校並びに支援員で説明する。
4. 学級担任と支援員に食い違いが生じた時は、特別支援教育コーディネーターなどを交え、支援方針の内容を再確認し、支援対象児に適した支援が行えるようにする。
5. 支援員は、対象となる児童の個人情報取り扱いについては十分に留意する。

### 支援員導入の流れ

1. 学校からの支援員導入の要請。（保護者・担任への確認）
2. 学校側からの支援に必要な情報提供をもとに、当法人理事長及び支援員派遣担当で様々な観点から検討。（支援の有効性・支援日数・派遣人員）
3. 支援員派遣要請を受諾することが決まったら、学級担任と支援員派遣担当で、KIDS COLOR 版個別支援計画書を用いて支援方針及び支援員の関わり方などを具体的に話し合いながら、年間・学期毎の支援目標を定める。（スモールステップが基本）
4. 支援員は、毎回の支援後、支援内容・連絡などをサポート連絡シートに記入する。  
（学級担任、校長、教頭、特別支援教育コーディネーターに回覧・必要があれば記入）
5. 各学期の終わりに、学校側と支援員が振り返り会を行う。  
（個別支援計画をもとに、成果と課題などを話し合い、次学期の支援の方向を検討する）

### 参考資料・文献

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課「特別支援教育支援員」を活用するために、H19

# 「ボランティア支援員受け入れの手引き」

2017 年度

◎ 学年については、低学年が理想的(特に1年生)  
早期対応・二次障害の予防

◎ 支援の形については、個別支援計画をもとに、  
学校側との話し合いで決める。

(1 クラスに、日替わりの支援員または担当1人～2人・支援は毎日または週〇日など)

◎ ボランティア支援員導入は、学年初めからが望ましい。

(5月連休後の児童実態から、導入要請→5月中打ち合わせ・支援計画作成→6月から支援開始)  
学年途中からは、要相談

◎ 支援時間は、基本、2時限～4時限

給食時間は、子どもたちと交流を図る良い機会なので、なるべく一緒に過ごしたい。



## 学校側で用意してもらうもの

- ・座席表 ( 後ろから見た向き、読み仮名入り )
- ・学習支援員の名札 ( 学習支援員・氏名・読み仮名 )
- ・サポート連絡ファイル  
中に→行事予定表・時間割表・タイム別時刻表  
支援シフト表・サポート連絡シート  
個別支援計画



◎ ボランティア支援員の紹介は、全職員・対象学級の児童にさせていただく

(全職員に対しては、ボランティア支援員が〇年〇組に入っていることを伝えてもらう)

◎ 担任と支援員は、信頼関係を作るため、お互いコミュニケーションをとる努力が必要  
参考資料: 文科省資料「特別支援教育支援員」を活用するために Q&A

○ 新人支援員派遣の場合は、初めに経験ある支援員と共に入らせていただく

○ 学期毎の学校側と支援員側の「振り返り会」は、学校と相談の上で日を決めて行う。

